

## 横暖ルーフα

工法

重ね葺き

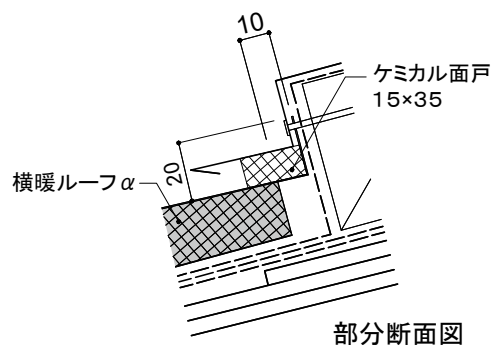
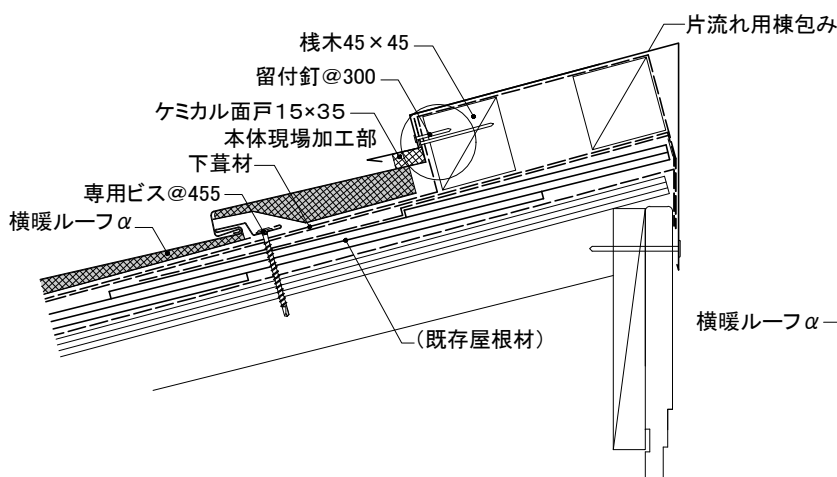
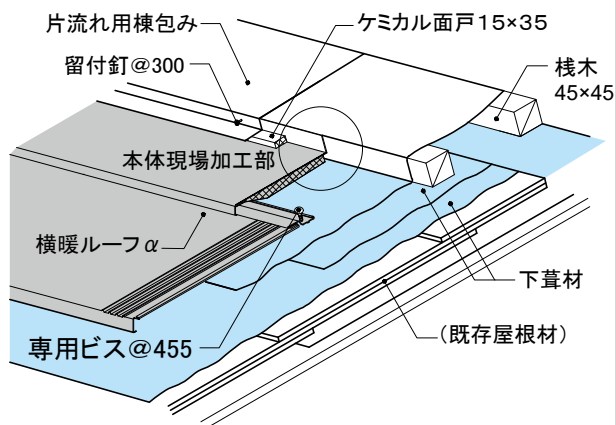
既存屋根材

セメント系新生瓦  
アスファルトシングル

## 6) 片棟部

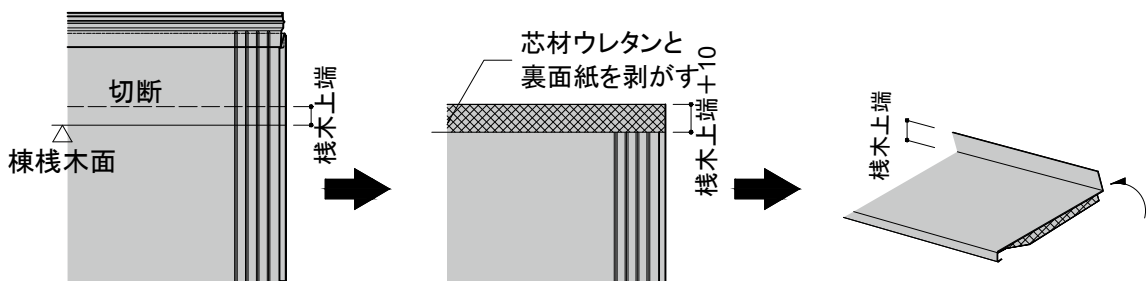
## ① 片流れ用棟包み

- 既存屋根材に下葦材を張ります。
- 棟部に棧木45mm×45mmを2ヶ所に取り付け、棧木を包むように下葦材を増し張りします。  
※ 工事中は片流れ用棟包みに乗らないでください。  
工具・部材も置かないでください。片流れ用棟包み  
が変形するおそれがあります。
- 棟部は本体の図の位置にケミカル面戸15×35を貼り付け、片流れ用棟包みをかぶせるように施工します。片流れ用棟包みは留付釘(ステンレス  
スクリュー釘長さ32mm以上)を用いて、300mm  
以下の間隔で棧木に留め付けます。
- 外壁面側は化粧破風あるいはサイディングの上  
から、留付釘(ステンレススクリュー釘・外装材厚み  
+30mm以上)で455mm以下の間隔で必ず下地に留  
め付けます。
- けらば部は片流れ用棟包みを加工して納めます。



## ■ 施工ポイント・現場加工図

○ 横暖ルーフα 本体の大棟部分は図のように加工してください。

① 棟棧木面から  
図の寸法で切断します。② 棧木上端+10mmの位置まで芯材の  
ウレタンと裏面紙を剥がしてください。③ 端部から棧木上端の位置で  
折り曲げて立ち上げます。